

## 校長室だより「伸びゆく梢」Ⅲ

文責 柴田町立船迫中学校 校長 三浦 道子

生徒の成長を日々感じることができ、校長として嬉しい限りです。1年生も中学校生活に徐々に慣れ、先輩達と共に学んでいます。普段の授業や諸活動も成長の場面ですが、校外でも大活躍する出来事がありましたので紹介します。

それは、柴田町のJOV活動です。JOV活動は、柴田町のさくらまつりに訪れる海外の方を「おもてなし」という主旨のもと行われています。コロナ禍だったため、「おもてなし」の活動は中止が続きましたが、その間も生徒は**放課後英語楽交**で、その名前の通り、楽しく英語を学ぶことができました。4月15日は町内の小学校・中学校の児童・生徒40名以上が、海外の方を「おもてなし」してくれ、船迫中からは6名の生徒が参加しました。

### JOV活動に参加した皆さんの感想

#### ○ 蔵之介さん（3年生）

最初は、「話しかけても反応してくれるかな」と、色々な不安があったけれど、友達と英語楽交で学んだことを活かし、楽しい活動ができた。海外の方と接してみても、始めは怖いイメージだったけれど、意外と優しく話してくれた。WBCもあって大谷翔平選手の話で盛り上がったのが楽しかった。桜は散っていたけれど、とても良い経験となった。



#### ○ 正則さん（3年生）

2年間、英語楽交に参加してみて、どの授業も楽しく、おもしろく学ぶことができました。その学んだ英語をJOV活動で生かすことができました。本当に楽しい雰囲気の中で学ぶことができるので英語が苦手な人でも、英語が得意になると思います。

#### ○ 祿郎さん（3年生）

僕は小学校から5年間にわたってこの活動に参加してきました。今年、ようやく海外の方を「おもてなし」できました。当日は小雨で、人は来るのだろうか心配していましたが、予想以上にたくさんの方が来てくれて、とても嬉しかったです。海外の方がすごくフレンドリーで、話していて楽しかったです。この活動を続けていてとても良かったです。



## ○ 優摩さん (2年生)

これまでずっと練習してきた英語も海外の方を前にすると緊張し、あまり話せなくなってしまいました。しかし、海外の皆さんは優しく明るい雰囲気であげてくれたので、僕たちはいい気持ちで「おもてなし」することができました。僕はJ・O・V活動で海外の方と言葉を交わせる楽しさや嬉しさを知ることができました。

## ○ 悠生さん (2年生)

海外の方と接してみて感じたことは、緊張するけれど楽しいということです。ジェスチャーをしたり単語をつなげて何とか伝わった程度でしたが、いざ海外の方とコミュニケーションを取ると、とてもうれしい気持ちになりました。これからも困っている海外の方がいたら積極的に声を掛けたいと思います。



## ○ 諒真さん (2年生)

J・O・V活動が始まる前はとても不安で緊張していましたが、海外の方と話してみたら思ったより話が進んだので良かったです。J・O・V活動を行っている時は、海外の方と話したり城址公園内を案内していましたが、その他にも城址公園や桜まつりや柴田町の歴史なども学ぶ機会となりました。来年もJ・O・V活動をやってみたいと思いました。

感想でも分かるように、生徒は楽しんで海外の方を「おもてなし」したようです。柴田町の地図と学校の3Dプリンターで作成した桜の花びらのストラップも海外の方は喜んでいました。

私は、写真を撮りながら生徒に同行したのですが、主催者である教育委員会の方に「船迫中学校の生徒は元気があって、周りが声を掛けるのを戸惑う中、いち早く海外の方とコミュニケーションを取っていたので感心しました。」とお褒めの言葉もいただきました。



J・O・V活動に参加した皆さん、ありがとうございました。皆さんの活躍を誇りに思います。次年度はさらに多くの生徒が参加し、自分の可能性を広げてくれたらうれしいですね。



<お知らせ>

令和5年度の放課後英語楽交の案内を配布します。  
ぜひ、短時間に実践的な英語を学べ、コミュニケーション能力を伸ばす、いい機会です。  
積極的に参加してみましよう。